

# 日本陸軍は、日露戦争で何を学んだのか？

# 砲・工兵の日露戦争

— 戦訓と制度改革にみる白兵主義と火力主義の相克 —

小數賀 良二 著

日露戦争を経て白兵主義が台頭していく状況において、砲・工兵はどのような戦訓を得て、第一次世界大戦勃発までの十年間にどのような改革を実行したのか。世界的な軍事動向から見た日本陸軍の状況を説明する。

※日本図書館協会選定図書（第2988回）



定価：本体4,200円（税別）

平成 28 年 2 月発行

A 5 判・上製・カバー装・320 頁

ISBN978-4-7646-0340-0

## ❖ 目次抄 ❖

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 序章            | 第一節 研究の目的                 |
|               | 第二節 先行研究の整理               |
|               | 第三節 概念の整理                 |
|               | 第四節 本研究の視点                |
|               | 第五節 論文の構成                 |
| 第一章 砲・工兵の日露戦争 | 第一節 砲兵の活動                 |
|               | 第二節 工兵の活動                 |
| 第二章 日露戦争の戦訓抽出 | 第一節 満州軍の報告など              |
|               | 第二節 児玉源太郎の軍制改革案における火力増強意見 |
|               | 第三節 陸軍省軍務局各課の改善意見         |
|               | 第四節 軍制調査委員による戦訓調査         |
|               | 第五節 陸軍内部の各種研究             |
|               | 第六節 欧州諸国の論調               |
| 第三章 砲兵の改革     | 第一節 砲兵操典に見る用兵思想の転換        |
|               | 第二節 組織制度                  |
|               | 第三節 装備                    |
| 第四章 工兵の改革     | 第一節 工兵操典に見る工兵の用兵思想の変化     |
|               | 第二節 組織制度                  |
|               | 第三節 装備                    |
| 第五章 考 察       | 第一節 改正歩兵操典と砲・工兵の関係        |
|               | 第二節 死傷者統計に見る日露戦争の性格       |
|               | 第三節 白兵主義の論理               |
|               | 第四節 火力主義の阻害要因             |
| 終章            | 参考文献・あとがき・索引              |

〔ご注文・お問い合わせ〕

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6

URL <http://kinseisha.jp/>

電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

## 砲・工兵の日露戦争

定価：本体 4,200 円（税別） ISBN978-4-7646-0340-0

書店様番線

注文数

冊

お名前

〒  
ご住所

お電話

注文書